

レプトスピラ症の発生動向【沖縄県：2023年】*

*データは2024年7月5日現在のものです、暫定値です。

感染症発生動向調査において、沖縄県で2023年[※]に診断され、届出されたレプトスピラ症の情報を還元します。

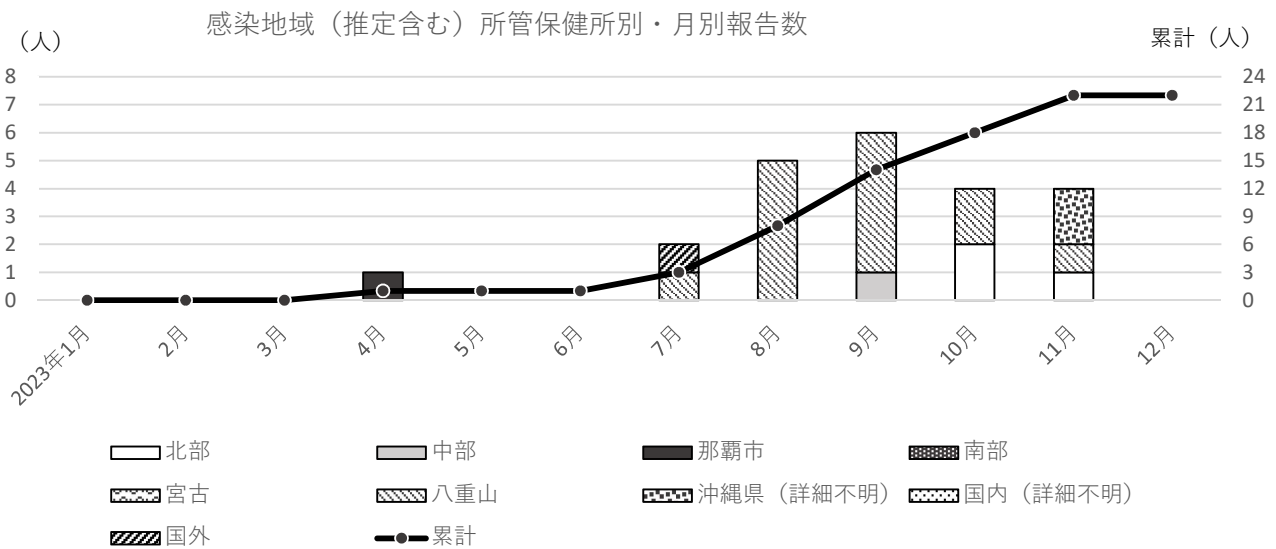
※疫学週によります。具体的な集計対象期間は下表のとおりで、診断日を基に集計しました。

所属年	集計対象期間
2023年	2023年1月2日 ~ 2023年12月31日

(1) 感染地域（推定含む）所管保健所別・発生（診断）月別届出数

沖縄県における2023年のレプトスピラ症の届出数は22人で、4月、7～11月に発生がありました。

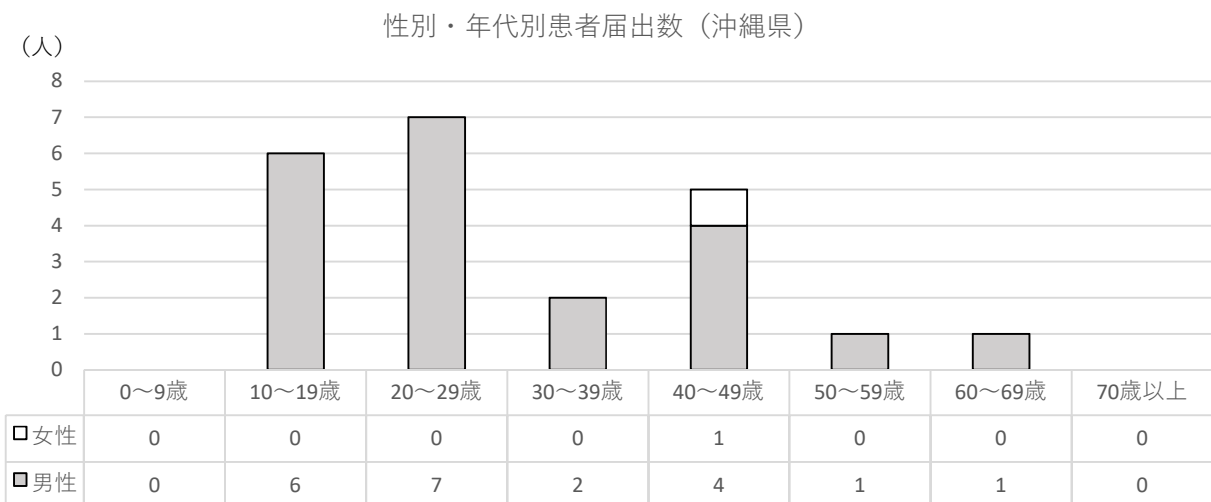
感染地域所管保健所別では北部が3人、中部が1人、那覇市が1人、南部が0人、宮古が0人、八重山が14人、沖縄県（詳細不明）が2人、国内（詳細不明）が0人、国外が1人でした。



(2) 性別・年代別届出数

届出された22人中、男性は21人(95.5%)、女性は1人(4.5%)でした。

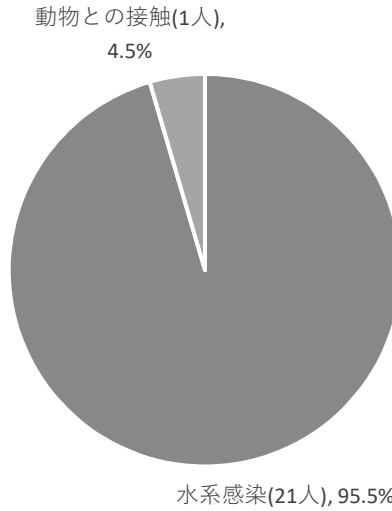
0～9歳、70歳以上を除いた各年代で届出がありました。



(3) 感染経路 (推定含む)

水系感染が21人 (95.5%)、動物との接触が1人 (4.5%) でした。

感染経路



(4) 症状ありの割合

発熱 (100%) が最も高く、筋肉痛 (64%)、結膜充血 (64%)、蛋白尿 (41%)、腎不全 (36%)、黄疸 (18%) と続き、出血症状は報告がありませんでした。

その他の症状としては頭痛や咽頭痛などの記載がありました。

症状ありの割合

n=22

